

## エコタウン通信（第 22 号）

町の低炭素社会の実現に向けた取組などを紹介するエコタウン通信(第 22 号)です。

今回は、平成30年3月の庁舎エコオフィス化改修事業による二酸化炭素排出量及びコスト削減状況並びに庁舎、総合福祉センター、八和田公民館及び竹沢公民館の太陽光発電設備による発電量・二酸化炭素排出削減量などをお知らせします。

### 1 庁舎エコオフィス化改修事業による二酸化炭素排出量（速報値）及びコスト削減状況

#### (1) 二酸化炭素排出量（速報値）削減状況

平成 30 年 3 月の二酸化炭素排出削減量は、次のとおりとなりました。なお、削減比較は平成 26 年 3 月になります。

平成 30 年 3 月分 二酸化炭素排出量 (単位：t-CO2)

年月	電力	灯油	ガス※1	合計
平成 30 年 3 月	8.9	0.0	1.9	10.8
平成 26 年 3 月	13.8	14.9	0.1	28.8
削減量	4.9	14.9	▲1.8	18.0

※1 表中の「ガス」は、平成 26 年 3 月は LP ガス、平成 30 年 3 月は都市ガスとなります。

#### ★杉の木換算 ★

平成 30 年 3 月は 18.0 t-CO2 の削減量となりましたが、この削減量を具体的にイメージするために、杉の木の本数に換算すること…

「杉の木 1, 285 本分」の削減効果になります。※2

#### ※2 杉の木換算

大きく成長した杉の木（樹齢 50 年、高さが約 20～30m）は、年間約 14 kg-CO2 の二酸化炭素を吸収するとされています。環境省/林野庁「地球温暖化対策のための緑の吸収源対策」

今回の二酸化炭素排出削減量 18.0t-CO2 (=18,000 kg-CO2) は…

$$18,000 \text{ kg-CO}_2 \div 14 \text{ kg-CO}_2 = 1,285.714\cdots \approx 1,285 \text{ 本となります。}$$

## (2) コスト削減状況

平成 30 年 3 月分 コスト削減額

(単位：円)

年月	電力	灯油	ガス※1	合計
平成 30 年 3 月	378,206	0	88,381	466,587
平成 26 年 3 月	620,087	534,000	14,889	1,168,976
削減額	241,881	534,000	▲73,492	702,389

※1 表中の「ガス」は、平成 26 年 3 月は LP ガス、平成 30 年 3 月は都市ガスとなります。

平成 30 年 3 月は 702,389 円 (60.1%減) の削減となりました。

平成 30 年 3 月は、電力が LED 照明等への切替えによる節電効果と灯油・ガスが空調設備の高効率設備への切替えによる燃料(ガス)の使用量の減少によりコスト削減が図られました。

## 2 庁舎、総合福祉センター、八和田公民館及び竹沢公民館の太陽光発電設備による発電量及び二酸化炭素排出削減量の状況

### (1) 太陽光発電設備の発電量及び二酸化炭素排出削減量の状況

平成 30 年 3 月分

(単位：KWh)

(単位：t-CO2)

施設	発電量	二酸化炭素排出削減量
庁舎	1,427.5	0.79
総合福祉センター	1,299.0	0.71
八和田公民館	1,195.7	0.66
竹沢公民館	1,358.6	0.75
月別合計	5,280.8	2.91

平成 30 年 3 月は、5,280.8Kwh となりました。

各施設の太陽光発電設備で発電した電力は、

①各施設に整備した蓄電池(15Kwh)に充電され、非常時の電源(照明や携帯電話充電サービス等)として利用できるように備えます。

②次に日常の施設の使用電気量の一部に充てられ、購入する電気量を抑制します。(自家消費)

③さらに、八和田公民館及び竹沢公民館は、施設での使用電気量が余る場合、東京電力へ売電を行えるように契約を締結しています。

平成 30 年 3 月の 4 施設の二酸化炭素排出削減量の合計は、2.91t-CO2 となりました。

各施設の太陽光発電設備の発電量の状況等については、各施設内にモニターを設置してお知らせしていますので、お越しの際は是非ご覧ください。